

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	水酸化カルシウム
製品コード	0207 1号用消石灰
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部門	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号	03-6271-8285
FAX番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先	03-6271-8285
推奨用途及び使用上の制限：肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。	

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	爆発物 可燃性ガス エアゾール 酸化性ガス 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性化学品 鈍性化爆発物	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分に該当しない 分類対象外 分類対象外 区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 急性毒性（吸入：気体） 急性毒性（吸入：蒸気） 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 誤えん有害性	区分に該当しない 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類できない 区分2 区分1 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 区分1（呼吸器） 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	分類できない 分類できない —

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H315 皮膚刺激
H318 重篤な目の損傷
H370 臓器の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き
安全対策

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
P264 取り扱い後は水でよく洗うこと
P260 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

応急措置

P302 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと

		P304	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当をうけること 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、 呼吸しやすい姿勢で休息させること。
		P305	目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること 直ちに医師の診断をうけること
		P308	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
	保管	P405	施錠して保管すること。
	廃棄	P501	内容物/容器を地域の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質 単一製品
 化学名又は一般名 水酸化カルシウム
 分類に寄与する不純物及び安定化添加物

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法	濃度又は濃度範囲
水酸化カルシウム	1305-62-0	1-181	公表	92.5%以上
結晶質シリカ	14808-60-7	1-548	公表	1%以下

製品は天然の鉱物を原料としており、不純物としてシリカを含有しております。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること 直ちに医師の診断をうけること
飲み込んだ場合 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当、診断を受けること。 吸入： 灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛口 皮膚： 皮膚の乾燥、発赤、皮膚熱傷、灼熱感、痛み 眼： 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷 経口摂取： 灼熱感、腹痛、胃痙攣、嘔吐、下痢 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医師に対する特別な注意事項	眼の中で水分やたんぱく質と反応して生成した酸化カルシウムの塊は 水洗浄で除去するのは困難。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	情報なし 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。口 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して腐食性又は 毒性の煙霧を発生するおそれがある。 加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	少量の場合は、乾燥砂等で被覆し、窒息消火する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミスの吸入を避ける。 粉じんの発生、拡散を防ぎ、河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 飛散、こぼれた物質を乾燥容器内に掃き入れる。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
--	--

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策 衛生対策 接触回避	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 適切な局所排気の実施
保管	安全な保管条件 安全な容器包装材料	容器を密閉し、涼しい乾燥した場所に保管すること。 耐アルカリ性容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		設定されていない
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH	設定されていない TLV-TWA5mg/m3

設備対策 保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。 防塵マスク 保護手袋 保護眼鏡（ゴーグル） 顔面用の保護具、保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状态	物理状态 色 臭い	粉末 白色～灰色結晶性 無臭
融点・凝固点		580℃(分解): ICSC (1997)
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		不燃性
引火点		不燃性
pH		飽和水溶液中では約 12.4(25℃飽和水溶液) : Merck (13th, 2001)
溶解度		水に微溶: Merck (13th, 2001)
密度及び／又は相対密度		2.2: ICSC (1997)
10. 安定性及び反応性		
反応性 化学的安定性		法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる 大気中で炭酸ガスを吸収し、漸次炭酸カルシウムとなる。 加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		酸、ハロゲン、金属と激しく反応する。 水、酸、可燃物、金属類との接触。 酸、ハロゲン、金属 酸化カルシウム
11. 有害性情報		
急性毒性（経口） 急性毒性（経皮） 皮膚腐食性／刺激性		経口マウス 7,340mg/kgとの報告 (ACGIH (7th, 2001)) データ不足 身体表面に中等度の腐食又は刺激作用 (ACGIH (7th, 2001)) ヒトの皮膚に対して中等度の刺激性を示すとの記載 (IUCLID (2000)) 腐食性を示す (EPA Pesticide (2005))
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		腐食性を示す (IUCLID (2000)) 非可逆的な傷害を与える (EPA Pesticide (2005))
呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 生殖毒性・授乳影響 特定標的臓器毒性（単回ばく露）		データなし データなし データ不足 データ不足 データ不足 データ不足 ヒトに気道刺激性、粘膜腐食性があり、咳、粘膜の火傷、肺水腫、嘔吐、胃痙攣を引き起こすとの報告がある (ACGIH (7th, 2001))
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 誤えん有害性		データ不足 データ不足
12. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性（短期/急性） 水生環境有害性（長期/慢性）	データなし データなし
残留性・分解性 生態蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性		データなし データなし データなし データなし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物 汚染容器及び包装		廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと 希硫酸等で中和して処理する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること
14. 輸送上の注意		
国際規制	国連番号 品名（国連輸送名） 国連分類（輸送における危険有害性クラス） 副次危険 容器等級 海洋汚染物質	該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない

その他の安全対策 国内規制	MARPOL73/78附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み 輸送される液体物質	該当する
	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	陸上規制情報	該当しない
特別な安全上の対策 その他（一般的）注意		該当しない
緊急時応急措置指針番号		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9） <input type="checkbox"/> 名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3）
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
消防法	該当しない
外国為替及び外国貿易管理法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

分類実施日	H25.8.22、政府向けGHS分類ガイダンス（H24年度改定版（ver1.0）：JIS Z7252:2014準拠）を使用
参考文献	1) 職場の安全サイト（厚生労働省） 2) 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） 3) 令和3年度（2021年度）厚生労働省・経済産業省・環境省によるGHS分類結果（NITE） 項目9及び11は 各データ毎
	本安全データシートは作成年月日時点の情報に基づき記載されておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。 また記載事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。 <input type="checkbox"/>
	本SDSは、上田石灰製造株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。
会社名	上田石灰製造株式会社
住所	岐阜県大垣市赤坂町3751番地
電話番号	0584-71-1133(代)
FAX番号	0854-71-5161
緊急連絡先	0584-71-1131（営業部直通）